

町政懇話会 生涯学習センター会場 議事録（質問・回答部分概略）

日時：令和6年6月23日(日)10時00分～

場所：松田町生涯学習センター 展示ホール

**質問**

来年松田中学校の制服の値上げがある。制服の変更が行われてから、5年間は助成金があったが、今はない。どうにかならないか。

**回答(教育課長)**

来年度の制服の値上げ(8,000円)は今年度になって把握した。制服の変更をしてから、5,000円の補助金を交付する制度を設け、当初は3年間の予定を5年間に延長した。制服のおさがりをリサイクルバザーなどで利用できるよう5年間の期間としていた。低所得者に対しては、制服購入の補助金とは別に63,000円の補助をしている。

**質問**

前は松田中学校に警備員がいたが、今はない。柵をつける理由は。

**回答(教育課長)**

警備員は警察のOBにお願いしていた。敷地が広いため、人の目だけでは全体的に警備することが難しく、対応が困難であるため、物理的に侵入者を防ぐため3mほどの柵の設置を予定している。

**質問**

コミュニティスクールのコンセプトがわからない。

**回答(教育課長)**

簡単に説明すると、コミュニティスクールとは学校運営協議会というもので、学校運営や学校の課題に対して保護者など地域住民が参画できる制度。その制度の導入に向けて町全体として説明会を行っていく。必要であれば学校評議会委員の方々に案内させていただきたい。

**質問**

寄みやま運動広場の人工芝について、整備の必要性はあるのか。

**回答(町長)**

スポーツツーリズムの関係、人口の減少などの課題があり、地方交付税に頼るだけでは財

源が不足していくことが予測される。関係人口を増やす。実施するお金は貯めている。本当は定住人口を増やすのが使命だが、まずは関係人口を増やして町を知ってもらう。そのためのスポーツリズム。例えば、野球の話でいうと、優秀な監督に教えてもらうために移住する学生もいる。過去5年間で寄に移住の相談があった15歳以下の子供がいる世帯は7世帯のみ。寄の幼稚園・小学校の存続をするにはどうすればよいか考えた際に、町営住宅を作るなどの案もあるが、新しいことに挑戦していく必要性があり、その一つがスポーツツーリズムである。ALTも5名、そのなかでサッカーを教えてくれる人もいる。その環境があり、世界を目指す子もいるだろう中で、土のグラウンドでいいのかと考えた際に、人工芝化という事業にたどり着いた。

#### 質問

新松田駅前再開発事業の事業協力者に決定した事業者の実績などを説明いただきたい。

#### 回答(まちづくり課長兼駅周辺担当室長)

新松田駅前再開発事業準備組合で30社程度に声をかけ、プレゼン等も実施して決定した、マンション等を手掛ける不動産会社である。

大手ではないが、広島に本社を置き、地方の駅前等で再開発事業の実績がある。近くでは小田急線の厚木駅南を施工している。

#### 質問

学校の先生が足りないという報告が西湘地区でもあり、1年以内で辞めてしまう方が多い。松田町ではどうなのか。

#### 回答(教育課長)

教員不足はニュースでも取り上げられているなかで、松田町は定員、各学級に必要な担任数は確保できている。勉強が遅れている子への指導もできている。

教職員の配属は2市8町のバランスをみて行われている。町から見ても教員の追加人員が欲しいことは正直ある。ただ、教育の質は最低限確保できている。

#### 質問

実際に教員が不足していることはないか。

#### 回答(教育課長)

ありません。休みの際は他の先生が代わりで入るなどして対応できている。

今は働き方改革もあり、育休などがあると人数が減ってしまうことがあるが、欠員がでないようにしている。

## 質問

地域におけるふれあい活動について、自分から見ていると、ふれあい会におんぶにだっこになっている。PR が全く無い、福祉的な意味でしかない。ふれあい活動は福祉のみに留まらず、様々な活動がふれあい活動と言えることから、ふれあい活動が活発に行われていると町が大々的に PR すべき。

## 回答(福祉課長)

ふれあい会については、コロナの時期もあり、活動をやめられたところもあるので様子を見ている。社会参加の場であり、健康状態の維持としての役割もある。PR の推進はしていく。

どうしても高齢者関係だと福祉課からの回答になってしまうが、生涯学習と同じで、いろんなふれあいがあることは理解している。

例えば、今年度については、ポッチャが浸透してきているので、町が補助金でポッチャセットを購入できるので、各自治会に1セットずつおいてふれあいのきっかけになってもらえれば。

## 質問

ふれあい会についてモルックが流行っているのでポッチャセットではなくモルックにできないか。

## 回答(福祉課長)

補助金の使い道は決まっているため、ポッチャセットしか購入できない。今後検討していく。

## 質問

旧松田土木事務所は女性活躍の場として整備していたが、その当時、12名ほどの女性(30歳～50歳)のグループがあり、女性活躍について活発な意見交換があったが、その後続かず、空中分解されてしまったので、そういった意見があった場合に、次に繋がるような施策をしてもらいたい。

## 回答(政策推進課長)

旧松田土木事務所のスプラポについては、女性が活用する場として位置付け、国の補助金を活用し整備した創生推進拠点施設となっている。その際、平成28年から町内外の女性を募集し、本町での女性活躍の為に何が必要か協議した。現在もその方たちをはじめ、子育て世代の方達の活躍の場でもある。目的は、女性が活躍できるための時間を増やす狙いで、家事の時間を減らすためのコインランドリーの設置や、女性を含め、健康維持のためのフィットネスや、子育て支援施設についても設置している。行政側が主体であると担当者が変わっ

ていってしまい、方向性も変わってしまう恐れがあるが、引き続き、様々な女性の参画を推進するため、審議会や委員会にて、女性をはじめ、町民の方が主体となり発言してもらい、町はその意見を尊重し、実現していくことで方向性を変えず実行されることが重要だと考えている。

また、この事業に限った話ではないが、事業を安定して行うため、町民が主体で意見が出る環境整備を引き続き進め、町民の皆さまからの積極的な参加と発言をお願いしたい。

## 質問

のるーと足柄について

タクシーは電話が繋がらないことが多々あるので、のるーとができて助かっている。実施状況はどうなっているか、一人だけで乗ることも多いのでタクシー状態になっていることが心配。

## 回答(政策推進課長)

利用いただきありがとうございます。のるーと足柄は3年間の実証実験にて運行しています。

実施状況については、今後エリア拡充として開成町の医療関係、買い物施設に行けるように、検討している。また、料金の見直しも考えている。

収支が厳しい状態だが、まずは乗ってもらい、みんなで支え育てていくものだと理解いただきたい。

のるーとは10月から実証運行を開始し、半年間で3,000万円ほどの収支がマイナスとなっている。

3年間の実証実験のため、実証実験中は料金を上げたり下げたり、運行時間を延ばしたり縮めたりすることもあり、松田町にとって何が最適かを探る実証実験でもある。

今後の計画としては5年目以降、赤字を取り戻しつつ、自走可能な公共交通を目指していく。

以上

## 町政懇話会 寄小学校体育館会場 議事録（質問・回答部分概略）

日時：令和6年6月23日(日)14時00分～

場所：寄小学校 屋内運動場 多目的ルーム

### 質問

人工芝は松田町の理念に合うものではないのになぜ人工芝化を進めているのか。松田町第6次総合計画、松田町SDGs未来都市計画などに脱炭素化の実現、地域の資源を活用し松田ブランドを全国的にPRし、自然を守りながら持続可能な形で松田町を守っていきたいとあるが、人工芝は環境汚染を起し、地球温暖化に繋がるのになぜ人工芝化を進めるのか。

### 回答(町長)

SDGs未来都市の走りはエネルギーの地産地消から始まり、クールチョイスに繋がり、カーボンニュートラル（脱炭素化）に繋がった。

人工芝について調べると、インターネットでは環境破壊をするものと言われている記事が多くあるが、これまで人工芝において日本や海外の会社が環境を意識しながら行ってきたのかと言われると不明確な部分があり、曖昧なイメージしかない。

これまで人工芝の施設ではプラスチックが外に流れ出ない設備がある施設は1割程度しかないが、現在では、人工芝施設のガイドラインが策定され、環境の被害を防ぐようになっている。

松田町においても、人工芝を設置する際には、ガイドラインをクリアし、充填されるチップに関しても健康被害の少ない物を使用するなど、環境汚染に繋がる要因を減らし、事業を進めている。

天然芝の設置も考えられるが、養生などで2ヶ月間使えない時期があったり、車の乗り入れができなくなったり、雨の日の次の日は使えないといったデメリットがある。

では今のままでいいという意見もあるが、今のグラウンドのままでは、雨が降ったら使用することができなくなっている。

人工芝にすることで、そういった問題はクリアされ、また、ドクターヘリの着陸もすることができるといったメリットがある。

## 質問

環境汚染に配慮した施設にするとして、しっかり維持管理していけるのか。様々な町有施設の管理がうまくいっていないようだが。

## 回答(町長)

以前、寄のドッグランの改修をしたとき、同じような座談会を開いたが、同じようなことを言われた。旧土木事務所の改修を行った時も反発はあった。

今回のグラウンドの利用については、今話題になっているサッカー人口の減少の理由として、子ども達の減少だけではなく、大人のサッカーも練習場が少ない状況にあることが推測される。御殿場にある時の栖のサッカー場は毎週末予約が埋まっていることもあり、練習場のニーズがあると判断した。

維持管理費については、1年で黒字の想定はしておらず、徐々に収入を上げていくことを考えている。また、初期投資の費用を回収することを考えると、15年程度要する見込み。ドッグランの土地代は年間で260万円になるが、指定管理者の協力で半額程度の支出に収まっている。

現在、グラウンド、テニスコート、管理センターを指定管理しているみやまの里には350万ほどを支出している。

人工芝化により、維持管理費を黒字にし、浮いた部分を他の事業に回すといった経営的な部分も考えている。

外部の人間が使う分、地域の方が使えなくなるのではという意見もあるが、地域の方が優先的に使えるように事業者と調整を行っていく。

## 質問

のるーと足柄について、運行時間の変更があるのか。

また、土日の朝の予約が取れない。土日の運行もして欲しい。

## 回答(政策推進課長)

10月1日から変更予定となっている。土日の運行については、地域公共交通会議にて検討していく。

運休予定の曜日は日曜日と祝日。日曜日の利用率が低いため、日曜日は運休を考えている。運行時間は朝7～8時は定時定路、決まった時間に決まったルートを通るバスのイメージで、8～20時は通常で運行する。

## 質問

寄は秦野市との繋がりが深く、買い物や学校が秦野方面になることが多い。寄から秦野に抜ける場合は林道を通れば 246 を通らずに早く行けるため便利である。その道を整備すれば、交通の問題の解決になるのではないかと、また、のる一と足柄も秦野に行ければ利便性は上がるのではないかと。

また、寄地区は移住者が増えてほしいのか、観光客が増えてほしいのかどちらなのか。

## 回答(政策推進課長)

のる一については、運行エリアを広げる場合、エリアに含まれる地域公共交通会議に承認を受けなければいけない。のる一と足柄もエリアを広げた場合の収支も問題もあるため、今後検討していく

富士急湘南バスが合併吸収されたため富士急モビリティとなったが、その支店長と話をする機会があり、寄の路線バスについては普段のバス運行だけでは採算が取れず、観光シーズンの際の利用者増で採算を取っていると話があったため、移住者だけではなく、地域住民の生活を守るためにも観光客が必要ではないかと考えている。

観光客と言っても地域を荒らすような、違法駐車をし、川にゴミなどを残していくような、質の悪い観光客は観光客と言えず、ルールを守り、駐車場代など地域にお金を落とす質のいい観光客を増やしたいと考えている。

移住者についても必要だと考えており、寄小学校に通っている子どものうち、移住してきた方が半分か、半分といかないまでも多くいたはずだが、そういった意味でも適度な移住者は必要だと考えている。また、移住者がいることで、地域の伝統や文化、歴史を引き継ぐ人が増えてほしいと考えている。

## 質問

町で事業を進めていく中で、午前中の回では新松田駅の開発についてアンケートを取っていると聞いていたが、グラウンドの人工芝化についてもそうだが、議会を通ったにもかかわらず、今回のような質問が出ていることはなぜなのかと思う。町民ひとりひとりとは言わないが、もっと町民との意見交換の場を設けたほうがいいのではないかと。

また、聞いた話だが、あるとき窓口に行ったらそれは違う課だと言ってたらいまわしにされたという話もあった。町長が言っているオール松田という言葉通り、これは違う課で、という話ではなく、1つの事業を課長同士で共有などして全員で連携して業務にあたっていただきたい。

## 回答(総務課長)

ご指摘のような事がないよう、課長同士、職員同士の横の連携をとりながら、職員研修や、職員教育を徹底しながら、職員一丸となって、今後対応していきたいと考えている。

## 質問

スクールバスについて、スクールバスはいつまで続くのか。

また、松田中学校に寄から通っている子どもはスクールバスを利用しているが、私の家は小学生の子どもがおり、湯の沢から路線バスで通っている。中学生はスクールバスで小学生は路線バスを使っている状況があるが、小学生が路線バスで通えているのだから、中学生も路線バスの利用でいいのではないか。また、路線バスが赤字だというのであれば、なおさら路線バスの方がいいのではないか。

## 回答(教育課長)

スクールバスについては、中学校を統合する際に、地元の人との約束でやり始めた事業であり、やめることはできないため、このまま継続していく。

また、湯の沢の小学生がスクールバスに乗りたいニーズは把握してはいるが、寄以外にスクールバスの地域を拡張すると、学校から遠い他の地区、例えば城山や庶子の地区からも要望が来てしまうため、寄という一つの区切りとしているため検討していない。

## 質問

ヤマビルについて、4～11月はヤマビルがおり、草刈りをしたくてもできない。

天気がいい日でも、草の近くで地面に座れない。観光客も来るなか、このような状態を重く受け止めてほしい。ヤマビル駆除に真剣に取り組んでいただきたい。

## 回答(町長)

ヤマビルについては、丹沢山系の市町村において問題になっている。松田町は毎年、知事にヤマビル対策を要望として話している。ヤマビルというものを(町長が)就任してから初めて知ったため、要望を上げる際には、ヤマビルの写真を付け、ヤマビルがどのようなものなのかを説明するところから始まった。

今ではヤマビルに対する協議会も作られ、徐々に対策は進んでいる。これから対策は加速していくものと考えている。町としてはヤマビルファイター(ヤマビル忌避剤)を配布する対策をとっている。

また、熊も問題になっていきていることから、町では熊スプレーの補助や、熊が食べる放置果樹園の伐採の補助も予定している。

以上